

特集 学園連携強化に「教育連携室」設置

学園の重点目標である「教育連携の強化」は、学園創立80年に向けた総合学園としての喫緊の課題である。その実現のため、4月に学園の教育連携を統括する組織として教育連携室を設置した。学園長をトップに、次長、主幹及び元公立園長、帝塚山小学校長及び教員3人、帝塚山幼稚園長、学園広報誌担当の10人が配置された。主な業務として ①帝塚山学園内部連携の強化に向けた取組 ②現代生活学部こども学科に新設された教職支援センターの運営協力 ③新学園広報誌の企画・発行等を担当している。

教育連携の主な取組例

小学校－大学

- こども学科生インターンシップ
- 小学生へのプログラミング指導
- 食育活動（トマト栽培、野菜レシピ集提供など）
- 低学年水泳指導補助等



食育指導

幼稚園－小学校－大学

- じゃがいも収穫祭
- 花火大会
- バザー等



じゃがいも収穫祭

幼稚園－小学校

- 年長体験入学・交流会
- 合同花火大会・バザー
- 英語での絵本読み聞かせ
- 小学校英語専科教員による「イングリッシュ・タイム」等

小学校－中高

- 中高グラウンドで運動会
- 中学校体験授業
- 中学校教員による英語授業
- 中高吹奏楽部と連携
- 内部進学推薦制度等
- ペットボトルロケット体験



ペットボトルロケット体験

中高－大学

- 地域ロボット教室
- 大学教員による特別講義
- 大学見学会
- 併設校入試制度等

幼稚園－大学

- こども学科生インターンシップ
- 食育活動（お誕生日会・給食の献立提案、ゼリーづくり）
- 大学教員による親子教室
- 幼児の運動能力測定補助
- 幼稚園運動会補助等

教職支援センター ～帝塚山大学からいい先生に育てる教育を支援～

現代生活学部こども学科に設置

小学校・幼稚園教諭、保育士育成支援のための、教職支援センターを現代生活学部こども学科に設置。教育連携室次長をセンター長に、主幹、元公立園長、帝塚山小学校長及び教員3人、帝塚山幼稚園長を教職アドバイザーに、こども学科教員と協働しながら、採用試験対策から即戦力養成まで、実践的な指導を行っている。

教職支援センターの主な活動

①教員採用試験対策

個人面接・集団面接、集団討議、模擬授業、場面指導、ロールプレイング、基礎授業力向上対策、児童生徒・保護者対応の実際等。

②こども学科教員との連携協働

学生カルテ作成、個別相談等、養成・採用を見通した日常的な連携。

③学園内インターンシップ支援

こども学科生を帝塚山小学校及び幼稚園でのインターンシップとして派遣する、3年次の教育実習につながる職場体験。



集団面接トレーニング



センター長によるガイダンス